

自民党政治を大もとから変える日本共産党の躍進を

「全国宣伝行動スタート週間」東海ブロックでも

自民党総裁選を巡る異常な過熱報道のなか、日本共産党は2日から「全国宣伝行動スタート週間」(～8日)を開始、東海ブロックの愛知、岐阜、静岡、三重の各県でも行動に取り組んでいます。すやま初美衆院東海比例候補らは5日、名古屋市中区でランチタイム宣伝。夕方には、もとむら伸子衆院議員(比例候補)も参加して名古屋駅前で若者宣伝に取り組み、青年と対話しました。

(須山候補のフェイスブックから) 「アメリカとの関係が支配的なのはわかる。どうやって解消しますか? 戦争になりませんか? 資本主義を否定的に感じる部分も、肯定的に感じる部分もあって、複雑です。など、たくさんのお問い合わせをもらい、一緒に考え合う時間はとても有意義でした。今は人生の目標があってダブルワークをしているけれど、確かに自由な時間がたくさんあれば、ボランティア活動してみたい。みんなに余裕があれば政治や社会のことにもっと関心がもてるかも。」

そんな感想も話してくれました。たくさんさんの対話を通じて、新たな仲間も、最近では「赤旗電子版を」ところで、



静岡市では鈴木せつ子衆院静岡1区候補らが宣伝



田村智子 委員長
9月8日(日) 17:00～
名古屋駅(名古屋駅桜通り口)
自民党政治をチェンジ!
希望を語る街頭演説会



本社前道路で対応する中電社員(右手前)

米不足、緊急に対応を 党愛知県議団が東海農政局へ申し入れ

もとむら、すやま氏同行

日本共産党愛知県議団のしもおく奈歩議員は4日、東海農政局に、「米不足への緊急対応を求める」申し入れを行いました(下写真)。もとむら伸子衆院議員、すやま初美比例候補も同行しました。しもおく氏は「日常生活に困っている。『お弁当を作れない、めん類で我慢している』など声がある。主食である米不足という事態。安定供給を国の責任で」と求めました。



東海ブロックいっせいで宣伝は 9月17日(火)です